

会議録

会議の名称	令和6年度 第6回東秩父村小・中学校あり方検討委員会
開催日時	令和6年5月30日（木）14:55～16:26
開催場所	槻川小学校 ランチルーム
出席者	別紙委員出席簿のとおり
会議記録	発言記録 ・ 要点記録
議事内容	1. 開会 （事務局） 2. 教育長あいさつ （小林教育長） 3. 委員長あいさつ （高橋委員長） 4. 委員・事務局自己紹介 ・昨年度と変更になった委員もいるため、名簿順に簡単に自己紹介を行う。 5. 協議事項 （1）小中学校の学校体制の検討について ■【事務局説明】 ・事務局より、令和6年度最初に開催する委員会となり、新任される委員もいることから、これまで委員会で協議した内容について、資料1「論点整理」を用いて概要説明を行う。 また、会議開催前に各委員からご意見があったものについてまとめた、資料「第6回東秩父村立小・中学校の在り方検討委員会会議に向けて 意見集約」も合わせて共有し、説明する。 ※今後のあり方検討委員会では、課題解決のための下記4つの論点を委員の方々とまとめていき、「答申」という形で東秩父村長に委員会の意見をまとめたものを提出する方向で考えている。 ・学校の体制 ・施設整備 ・教育内容 ・教育環境 ■【ご意見等】 委員長 資料「意見集約」については、今後の検討していく課題全般にわたってご意見をいただいているが、本日は主に「学校の体制」という論点から各委員に意見をいただきたいと考えている。小中一貫教育などを含めた、どのような学校形態を整えていくか検討し、そのあり方の結論が出さ

ればというところだが、この場ですぐ結論を出すのは困難であるので、本日は出席されている委員の皆さんのお考えをお聞かせいただきたい。

また、今後、小中学校一貫を実践をしている学校への見学を本委員会で行っていきたいと考えているが、「学校の体制」を検討していくと、関連して「施設整備」の部分につながってくるので、「学校の体制」と「施設整備」の2つの観点を結びつけて、自由なご意見をお願いしたい。

委員 小中一貫での学校体制と施設ができればよいのではないかな。また、最終的にはお金が絡んでくる話になるが、教育環境として、本が充実し、図書スペースを確保し、児童生徒が読書ができるような充実した図書館などをその施設に導入したらよいのではないかな。児童生徒の読書意欲が向上するなど期待ができる。

委員 小中一貫にしていくのがよい。9 学年児童生徒がいれば、学校行事等も盛り上がるのではないかな。大人数がいれば、今まで少人数では実現が難しかった活動もできる部分が増えてくるのではないかな。

委員 小中一貫校は賛成だが、建物については、グラウンドを中心として小学生と中学生で別の建物の方が良い。分けることにより、児童生徒が学習環境を落ち着いてできる。また地域に開かれているのはいいことだが、村内でも、過去坂本柴区の家屋に空き巣がはいった例もある。子供たちの安全面の部分も考えて施設整備を行う必要があるのではないかな。

委員 小学6年、中学3年での編制ではなく、小学5年、中学4年での編制にした方がよいのではないかな。施設は一体型ではなく、分離型で可能であればチャレンジする必要がある。

委員長 小学5年、中学4年での編制は、義務教育学校という形態であれば可能性はあるが、この場合、施設は一体型となるのが原則である。施設が分離型だと、現行の制度では、小中一貫が実施できないと想定されるので、引き続き情報収集を行いたい。

委員 他市町村と連携をして、他市町村への通学などを可能にしてみてもどうか。

委員 建物が一つで、その中で小学生ゾーン、中学生ゾーンとスペースを分けて学校生活を行うのはどうか。また、小・中学生が一緒に活動できる共有スペースも設けるのはどうか。小中一貫になったとしても、完全に一緒のスペースで学校生活を送るとなると小中学生で体格が違うので、怪我とかが心配。また、城山保育園も学童も小中学校の近くにあるように将来的に考えていただきたい。

委員長 施設の一体型の中にもメリット・デメリットがあるためそれも今後情報収集しまとめていければ。

委員 建物一つで、小学生と中学生が分かれているのが良いのでは。一緒だと、中学生が小学生に合わせなくてはいけない場面が出てくる事や小学生の自主性も育たないのでは。小学生の高学年から中学生と同じようなスペースにいけるようにすればよいのでは。

委員 小中一貫校で良いとは思いますが、財政面の部分で施設建設が難しい部分も考えられる事や教育カリキュラムの検討がすごく大事になってくると考えられる。また、小中一貫になった場合、学校の9年間の中で変化や区切りをつけていくのも必要ではないか。

委員長 小中一貫と方針が決まっても、教育カリキュラムの作り方の課題はある。数年かけて、先生方などの意見や地域住民、保護者の立場も含めて、それらも検討していく必要がある。

委員 現在の6年生が早くに中学になじめるように、小学校5年、中学校4年の編制を検討できればよいのではないかと。また、保育園・小・中で一体で行事ができるようになればよいのではないかと。

委員 現状、村内では中1ギャップの方はいるのか。
→本村にはいない。一般的には、中学校は毎時間先生が替わることで、ギャップを感じる生徒がいる事がある。これは、小学校は、基本1名の担任で授業を行うが、中学校では基本教科担任制となるため、生じるギャップだと考えられている。

委員長 答申を出すにあたり、なぜそうすべきなのかという事を、根拠をもってまとめなくてはいけない。事務局にはお願いしてあるが、近隣で小中一貫校を実践している学校の授業の様子・部活動の様子などを見学していくのはどうか。実際に視察を行い、情報収集を行ってから方向性を出すのでよいのではないかと。

事務局 坂戸市にある小中一貫で施設が分離型の「城山小中学校」に視察にいくのはどうか。

委員長 委員の皆さんがよければ事務局に計画してもらいたい。

委員 小学生と中学生で校舎が一緒になっている小中学校一貫校も視察した方がよいのではないかと。

委員 県内では春日部には施設一体型、日高には義務教育学校がある。

委員長 分離型、一体型で片方の施設の見学はできないにしても、校舎一体型のメリットデメリットを確認したいので、事務局で今後、資料をまとめるようにしていただきたい。

委員 小中学校一貫校にしたときの児童生徒の順応性はどうなのか。

副委員長 村の児童生徒は、小学校のときから、少人数で生活を行っており、他学年の児童生徒とも遊んだり、関わりをもっているなので、中学生と一緒になったとしてもギャップ等を感じる事は想定されないのではないのか。そういった部分は、ある程度村の小中学校の先生に対応をお任せするのでよいのではないのか。

(2) その他（委員からの意見等）について

委員長 ほかにご意見等あれば出してもらいたい。
→特になし

■本日のまとめ

◎今後、近隣の小中一貫校の視察を本委員会で実施する。視察を行った中で情報収集や内容をまとめ、各委員の意見を集約して、答申の一つとする。

◎令和6年度中に委員会で答申を作成する。

6. 次回開催について

事務局 7月の2週目に、本委員会の委員で、近隣で小中一貫を実践している「坂戸市立城山小中学校」へ視察を行いたい。

(今後の委員会想定スケジュール)

- ・6月 視察に行く学校への日程調整・各委員への出欠席の確認
- ・7月上旬 「第7回あり方検討委員会」→小中一貫校への視察
- ・8月 「第8回あり方検討委員会」

7. その他

・委員から、会議について月末(29日・30日・31日)での開催は避けてもらいたいとご意見がある。

8. 閉会 吉野副委員長

第6回東秩父村立小・中学校あり方検討委員会 委員出席簿

【委員名簿】 出席委員 10名

R06.05.30 開催 槻川小学校 ランチルーム

No.	要綱区分	所属	役職	氏名	出欠席	備考
1	(1)	学識経験者（村外）	—	高橋 守	出席	委員長
2	(1)	学識経験者（村内）	—	吉野 孝	出席	副委員長
3	(2)	東秩父村立城山保育園	保護者会長	江原 多恵子	出席	
4	(2)	東秩父村立槻川小学校PTA	会長	坂本 樹俊	欠席	
5	(2)	東秩父村立東秩父中学校PTA	会長	尾石 楓	出席	
6	(3)	東秩父村区長会	会長	峯岸 正明	出席	
7	(3)	公募委員	—	高野 次雄	出席	
8	(3)	公募委員	—	奈良 幸子	出席	
9	(4)	東秩父村立槻川小学校	校長	川島 一伸	出席	
10	(4)	東秩父村立東秩父中学校	校長	田端 隆二	代理出席	東秩父村立東秩父中学校 教頭 斉藤 均
11	(5)	東秩父村教育委員会	教育長職務代理	高田 長子	出席	

【事務局名簿】 参加事務局人数 4名

11	—	東秩父村教育委員会事務局	教育長	小林 洋介	出席	
12	—	東秩父村教育委員会事務局	事務局長	足立 利平	欠席	
13	—	東秩父村教育委員会事務局	学校教育指導員	志田 隆之	出席	
14	—	東秩父村教育委員会事務局	学校教育指導員	櫻井 仁志	出席	
15	—	東秩父村教育委員会事務局	主査	岩田 浩興	出席	